



豊浜中
No.16

豊浜中だより

H30. 1. 24
校長 中辻浩行

「よりよい学校をめざす」アンケート 集約結果

【A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない E: わからない】

豊浜中学校についてのアンケート集計用紙

全学年 生徒

番号	内容	A	B	C	D	AB	CD	計(人)
1	今の学校は楽しい。	65%	28%	5%	2%	93%	7%	123
2	今の学級は楽しい。	61%	28%	9%	2%	89%	11%	123
3	教科の授業はよく分かる。	39%	48%	9%	2%	87%	11%	123
4	先生は熱心に授業をしてくれる。	58%	35%	5%	2%	93%	7%	123
5	部活動は楽しい。	57%	29%	7%	6%	86%	13%	123
6	運動会、文化祭、修学旅行、遠足、キャンプなどの学校行事は楽しい。	67%	28%	4%	1%	95%	5%	122
7	道徳や学活などで学んだり話し合ったりすることで、学級や自分の生活を見直すことがある。	47%	42%	9%	2%	89%	11%	122
8	先生は悩みや困ったことなどの相談にのってくれる。	54%	35%	8%	3%	89%	11%	123
9	先生はいじめやけんかななどの問題に対して、きちんと対応してくれる。	56%	34%	5%	5%	90%	10%	122
10	学年だより、学級・学年通信など学校からの情報が役立っている。	48%	34%	10%	7%	83%	17%	122

豊浜中学校についてのアンケート集計用紙(保護者)

全学年保護者

番号	内容	A	B	C	D	E	AB	CD	計(人)
1	本校の教育全般について満足している。	21%	56%	19%	4%	0%	77%	23%	124
2	現在の学級の状況に満足している。	29%	48%	13%	4%	5%	77%	17%	124
3	本校の教科指導について満足している。	22%	49%	19%	6%	3%	71%	25%	124
4	部活動は楽しそうである。	36%	47%	7%	6%	2%	83%	13%	124
5	運動会、文化祭、修学旅行、遠足、キャンプなどの学校行事が充実している。	19%	48%	25%	6%	2%	67%	31%	124
6	人権を大切にされた教育が進められている。	19%	54%	13%	2%	11%	73%	15%	124
7	健康や安全に配慮した教育が行われている。	23%	60%	8%	1%	6%	84%	9%	124
8	学校だより、学級・学年通信、進路通信などで学校や子どもの様子を知ることができる。	30%	53%	12%	2%	2%	83%	15%	124
9	本校はいじめなどの問題に対して、きちんと対応している。	19%	38%	12%	6%	24%	57%	18%	124
10	本校の危機管理体制や情報管理体制に満足している。	22%	45%	13%	3%	16%	67%	16%	124

昨年末はアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。生徒については、「学校は楽しい」、「先生は熱心に授業してくれる」の肯定率が93%と高い数値を示していることがうれしいです。しかし、数字に表れない部分や、少数派の意見についても見逃してはならないと考えます。「悩みやいじめ、けんかななどの相談や対応」については、引き続き、生徒のSOSにすばやく気づいていけるように、日々、見守っていきたいと考えます。

保護者におかれましては、今年度、文化祭の運営等においてのご意見を多数頂戴いたしました。豊浜中学校に対しての深い愛情と熱意を感じさせるものばかりでした。保護者の皆様が自由に意見の言える学校、開かれた学校を目指す本校として、心強く感じました。回答につきましては、裏面をご覧ください。

保護者の皆様のアンケートを通して、個人的に回答したいものや、生徒や教員の個人情報に関わるもの、早急に回答したいものなどがございますが、この紙面ではお答えにくいものもありますので、お気軽に校長室へお越しいただきたいと思っております。来年度は、以上の理由により、保護者アンケートは記名式にしたいと考えております。ご了解ください。

このアンケートをもとに、職員会議や学校評議員会等で話し合い、よりよい学校づくりを進めていきたいと思っておりますので、今後ともどうかよろしく願います。

生徒アンケートの意見・要望（カッコはそれに対する返事です。）

・部活動の日が少ない。試合がしたい。

（長くやればよいというものではなく、短時間で能率が上がることも大切です。その成果としての試合も考えていきます。）

・理由のわからない校則が多い。

（校則が出来た時から時もたっていますので、現在にそぐわないものもあります。見直しの時期に来ていると考えています。）

・文化祭を来年も合同ですのなら、もっと北浜としゃべったりする機会がほしいです。

（部活での練習試合や合唱などの文化的な交流から、徐々に話をしたりする機会もつくっていききたいと思っております。）

保護者アンケートの意見・要望（カッコはそれに対する返事です。）

・教科指導内容が不明

（年度始めに配付した学習内容でご確認いただき、それ以外はいつでもお尋ねください。）

・ネットに関するセミナー等を色々やってほしい。トラブルに巻き込まれないためにも。

（新入生説明会では毎年実施していますが、他学年でもいろいろな機会に学習していきたいと思えます。）

・豊浜中は田舎の学校で、地域との交流を大切にいただいておりますが、「保護者に挨拶をしない先生がいる。」という話を耳にします。保護者や地域の方々へのあいさつを心がけていただきたいです。

（連絡ありがとうございます。教職員には周知徹底していきます。）

・土、日、祝日、平日の朝練と部活動に費やす割合が高いので減らしてほしい。

（来年度までには県の部活動のガイドラインが示される予定です。）

・成績の順位について、2年生だけ中間・期末の結果が出ないのはどうしてか。子どもたちも順位が分かった方が勉強する気になるのではないかと思います。

（少人数の中での相対的な順位よりも、学力が定着しているかなどの視野で見ていただきたいという学年の意向です。）

・豊浜中のHPに昨年度まで行事等をカレンダーに入れてくれてあったが、今年度からは何も入っていない。行事や部活動の大会、懇談会の予定を早めに見て予定を立てていたのに。

（HPの「予定」のところの上の「年間行事」のところに年間の行事予定がのっています。分かりにくくてすみません。）

・給食を残す生徒が多いと聞いています。無理に食べさせることはできませんが、材料や食材の命を無駄にしているということは分かってほしい。市への要望として、子どもたちが給食を楽しみにして学校にくるようなメニューを考えてほしいです。伊勢には洋食、和食のシェフがたくさん見えるのでアドバイスもいただき、全国に自慢できる給食にしてください。

（食育には市はもちろん、小中学校も力を入れています。貴重な意見をありがとうございます。）

文化祭について

学習指導要領において特別活動の項目で学校行事の文化的行事は次のように位置付けられています。「平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。」「生徒に過重な負担がかかることのないように配慮すること。」

「平素の学習活動」はまさしく学習や活動の成果を発展させ、発表し合い、互いに鑑賞すること。「文化や芸術に親しんだりするような活動」は外部の文化的な作品や催し物を鑑賞すること。簡単にいうと、「学び、楽しむために、生徒全員が努力することだ」と思います。そこで長年懸案事項であった「有志発表」は一部の出演者はすごい努力をして完成させますが、全員が努力する場面ではないこと。準備する一部の生徒に過重な負担がかかること。たとえば夜遅くまで家で練習したり、休日に集まったりと。特に受験を控えた3年生にはこの時期にこそ、勉強に集中してほしいのです。これらの理由から「有志発表」はなくすことにしました。ただ、学習指導要領の中には「生徒の希望や意見を生かし、生徒が自らの活動の計画を立て、意欲的に活動できるように援助する。」とあり、この点に関しては学校側として配慮が足りなかったと反省しています。来年度の文化祭については、北浜中との統合までの合同プロジェクトにおける教育委員会との連携や、今年度の文化祭が終わった時から、会場や講師の手配など、すでに、進めている最中なので昨年度までのような文化祭に戻すことはできませんが、現時点では

- ① 会場は防災上、保護者の方々の入場には制限も出てくるかもしれませんが、ホールを予定している。
- ② 午後は今年度と同様に外部の文化的な催し物を計画中である。

この2点において計画、検討中です。それ以外については生徒の意見を聞いたり、実際に生徒会を中心とした「生徒会企画（仮称）」を計画したり、PTA 総会やPTA 本部、役員会においてご意見を伺ったりする予定です。

体育祭について

以前こんな作文を書いた生徒のことが新聞で紹介されていました。

私の学校では9月に、あの嫌な体育祭があります。

私は走るのも遅いし、体を動かすのが大嫌いなので体育祭に出たくありません。

小学生のころはいつもボリ。体育祭なんて、運動音痴な子にとっては、最悪な行事だと思います。

全員リレーというのがあります。私のせいでクラスが負けたら、絶対に何か言われます。

こんな不安な気持ちを誰にも言えません。体育祭は私にとって地獄です。

運動の好きな人や得意な人にとっては考えられないことかもしれませんが。しかし実際にこの子のように思い悩んでいる人もいます。

運動の得手不得手で決まる種目ではなく、みな練習すれば勝てる競技や、走るのが苦手な子が足の速い子にも勝てるような偶然性が左右される競技を採用しました。また、全員リレーにおいてもワープ走者を置くことで、作戦の立て方でクラスが勝てるようなルールにしました。しかし、「順位を決めることは悪いこと。」とみんなで同時にゴールしたりする徒競走が流行した時代もありましたが、運動が得意な子も評価すべきであるとも思います。

競走を「子どもが悔しい思いをしたり、恥ずかしい思いをしたりすることでがんばる思いを摘みとってしまう」悪いことだと考えるか、競走を「走るのが苦手だけでも、恥ずかしい思いをしたからこそ、いろいろな場面でがんばれた」良いことだと考えるか。このことについても、生徒の意見を聞いていきたいと思えます。もちろん、少数派の考えを持っている生徒が意見を言いにくいような場面にならないようにします。